



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（連結）

平成 19 年 2 月 19 日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス

（コード番号： 5721 東・大証第 1 部）

（URL <http://www.s-science.jp>）

代表者 代表取締役社長 品田 守敏

問合せ先責任者 総務担当執行役員 甲佐 邦彦

T E L : (03) 3216 - 6431

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 無

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期（連結）業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）
経営成績（売上高・経常利益・四半期（当期）純利益）

（注）（金額表示：百万円未満切捨）

	売上高		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 19 年 3 月期第 3 四半期	7,293	32.5	700		653	
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	5,503	112.1	323		411	
（参考）平成 18 年 3 月期	8,910		154		1,195	

（注）パーセント表示は、前年第 3 四半期比増減率を示しております。

[業績に関する補足説明について]

当第 3 四半期における我が国経済は、個人消費の伸びが鈍化しているものの、輸出・設備投資等が堅調で、緩やかな景気拡大を持続しております。

このような状況の中、当社グループの業績につきましては、ニッケル業界におきましては、ステンレス業界が好調を継続しており、中国のニッケル需要も強いいため、2006 年のニッケル需給は供給不足となり、2007 年も供給不足と見込まれることから、非鉄金属全般の相場上昇及び投機資金の介入もありニッケルの LME 価格は、中間期末のトン当たり 31,000 ドル台から 12 月末には 34,000 ドル台へと上申いたしました。当社の販売主体でありますメッキ用地金の国内需要につきましては、自動車向け及び IT 関連材向けが堅調に推移いたしました。

このような状況からニッケル事業につきましては、販売価格上昇により売上高は、36 億 18 百万円となりました。（前年同期比 65.9%増）

不動産及び関連事業の売上高は、13 億 57 百万円となりました。（前年同期比 113.0%増）

教育関連事業につきましては、教育関連の子会社 3 社を含めた売上高は 17 億 73 百万円となり、その他の事業につきましては 5 億 39 百万円で、当社グループ全体の当第 3 四半期の売上高は、72 億 93 百万円となりました。（前年同期比 32.5%増）

当第 3 四半期の損益面につきましては、ニッケル事業と不動産及び関連事業においては収益計上となりましたものの、教育関連事業等は費用削減に努めましたが損失計上となり、さらに持分法適用会社からの受取配当金 2 億 48 百万円が連結会計処理上減額となることに加え、連結調整勘定相当額償却等 3 億 8 百万円を計上したため、当社グループでは経常損失 7 億円（前年同期 経常損失 3 億 23 百万円）、純損失 6 億 53 百万円（前年同期 純利益 4 億 11 百万円）となりました。

[参考]平成 19 年 3 月期の連結業績予想（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	12,600	505	515

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 0 円 51 銭

（注）上記の業績見通しは、現時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 18 年 11 月 24 日に発表した通期業績予想に変更はありません。

以 上



平成 19 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（個別）

平成 19 年 2 月 19 日

上場会社名 株式会社エス・サイエンス

（コード番号： 5721 東・大証第 1 部）

（URL <http://www.s-science.jp>）

代表者 代表取締役社長 品田 守敏

問合せ先責任者 総務担当執行役員 甲佐 邦彦

T E L : (03) 3216 - 6431

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

（1）会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無：無

（2）最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無：無

2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期（個別）業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日）

経営成績（売上高・経常利益・四半期（当期）純利益）

（注）（金額表示：百万円未満切捨）

	売上高		経常利益		四半期（当期） 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成 19 年 3 月期第 3 四半期	6,630	105.1	93		3	
平成 18 年 3 月期第 3 四半期	3,232	57.4	87		38	
（参考）平成 18 年 3 月期	6,261		522		748	

（注）パーセント表示は、前年第 3 四半期比増減率を示しております。

[業績に関する補足説明について]

当第 3 四半期の個別の業績は、ニッケル事業につきましては、販売価格上昇により売上高は、3 6 億 1 8 百万円となりました。（前年同期比 65.9%増）

不動産及び関連事業につきましては、1 3 億 5 7 百万円の売上となりました。（前年同期比 111.7%増）

教育事業につきましては売上高は、1 6 億 4 9 百万円となり（前年同期は該当なし）その他の各事業の売上も含め当社個別の売上高は、6 6 億 3 0 百万円となりました。（前年同期比 105.1%増）

損益面につきましては、ニッケル事業と不動産及び関連事業においては収益計上となりましたが、教育事業は費用削減に努めましたが損失計上となり、経常損失 9 3 百万円（前年同期 経常損失 8 7 百万円）、四半期純利益は 3 百万円（前年同期 純損失 3 8 百万円）となりました。

[参 考]平成 19 年 3 月期の個別業績予想（平成 18 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 3 月 31 日）

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	12,300	830	900

（参考）1 株当たり予想当期純利益（通期） 0 円 89 銭

（注）上記の業績見通しは、現時点で入手された情報に基づくものであり、不確定要素を含んでおります。

[業績予想に関する定性的情報等]

平成 18 年 11 月 24 日に発表した通期業績予想に変更はありません。

以 上